

★危険な場所を考えてみよう
危険な場所や子ども110番の家をみつけたら、白地図にシールをはっていきこう。

自転車が捨てられている。こういうところは、人の関心が薄くて危険かな。



駅前の放置自転車

気づいたことは、ワークシートにどんどん書き込んでいこう。



子ども110番の家を発見。ここは安全。



写真係は、デジカメで撮影。



人気のない雑木林。夜は暗くて危険そうだね。

公園でインタビュー



果物屋さんでインタビュー

この辺で危険だと感じるところはありますか？

今は冬の公園。夏は木がおいしげって見通しはどうか？今は昼だけ夜は明るいかな？

危険なところ (きげん) 安全なところ (あんぜん) 子ども110番の家 (こども110)

地図上にこのようなシールをはっていきます。

★インタビューの方法
まちの人にいろいろと聞いてみよう。

- ①「こんにちは。いま、地域安全安心マップをつくっています」
- ②「もうしわけありませんが、お話を聞かせていただけませんか？」
- ③「犯罪がおこるかもしれないと、不安になる場所がありますか？」
- ④「ご協力ありがとうございました」

11:30 フィールドワーク終了
〈昼食、休憩〉

※この間に撮影した写真をプリントしよう。



お疲れさまでした。次は、マップづくりです。

13:00 ステップ4
マップづくり

マップづくり準備品

記入したワークシートとインタビューシート 模造紙 マジック (5~8色あると便利) はさみ 街区地図 (B4の2倍)

撮影した写真プリント スティックのり ポストイット (4色あると便利) シール★ (きげん、あんぜん、子ども110、インタビュー)

フィールドワークで使ったシールをつかいます。

印の準備品は、損保協会のホームページからPDFファイルをダウンロードできます。<<http://bouhan.sonpo.or.jp/>>

★作業 その1
写真とコメントの整理



①歩いたルートをマーカー等で地図上に記入。

②街区地図のチェックポイントにシールをはります。

このコメントはどこだっけ？

③ワークシートに記入したコメントがどの場所だったかを確認します。

⑤コメントを記入するポストイットは、「危険」「安全」「インタビュー」などで、シールの色に合わせて色分けします。

④写真にコメントを記入していきます。(コメントは気づいたことや感想を書きます)



写真の余分なところは
とって好きな形に
カットしよう。

★作業 **その2**
模造紙でマップをつくる

⑥模造紙にタイトルとチーム名を記入し、街区地図をはったら、コメントをつけた写真をおおまかにならべてみよう。



マップづくり作業は、
みんなで、楽しく！



⑦ならべた写真とコメントをのりで模造紙に固定。

おおよそ
できあがったら、
上からもみてみよう。



14:30
ステップ5
マップ完成！発表会

チェックポイントに印をつけた街区地図。
※ベースとなる地図は、収集した情報をより正確に落としこむことができるよう、街区地図を活用しました。
(個人名の入った地図は使わないようにしましょう) グループ名 集合写真を
はってみました。



地図上のポイントと
写真を線で結んで、
できあがり！

撮ってきた写真と
コメントをはります。

調査の結果や
感想などを
発表しよう。

15:00 終了

子どもたちの感想

- ・街灯がない、人が少ないなど、危険なところがありました。
- ・ゴミや落書きが多いところも気をつけなければいけないと思いました。

保護者の感想

- ・いつも何気なく歩く道もこうやってまちあるきすることにより、危険なところを意識するようになるからとてもよい経験だと思いました。

＜注意事項＞

- ・マップづくりのルートは、できるだけ通学路やよく遊ぶ場所に設定しましょう。
- ・子ども主体で進めますが、各グループには必ず大人が1名以上つきそい、必要に応じてサポートしましょう。
- ・グループごとにまとまって行動し、交通事故に注意し、安全には万全を期すようにしましょう。





「子ども110番の家」を訪問しよう!

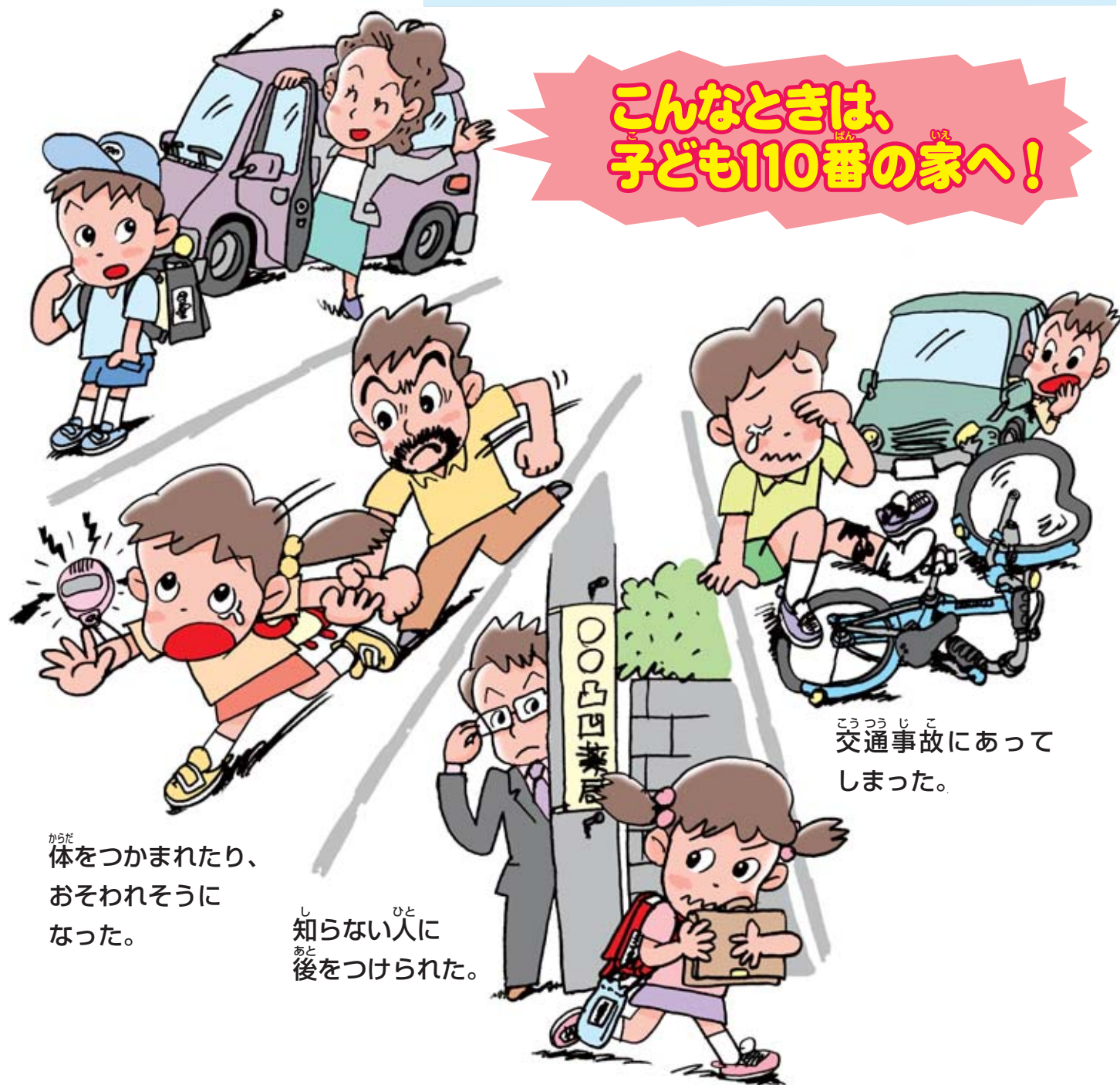
こども向け 体験②

■キミは知っているかな? (知っている人は○をつけてみてください)

知らない人がしつこく声をかけてきた。

- 「子ども110番の家」とは何か、知っているよ。
- 「子ども110番の家」がどこにあるか知っているよ。
- 「子ども110番の家」の利用方法を知っているよ。

こんなときは、子ども110番の家へ!



からだをつかまれたり、おそわれそうになった。

知らない人から後をつけられた。

交通事故にあったり、自転車が壊れた。

子ども110番の家は、こんなことをしてくれる

警察などに通報してくれる。

安全が確認されるまで守ってくれる。



子ども110番の家がない場合は…

いざというときには、「子ども110番の家」のマークを探している余裕はありません。どこの家にも助けを求めましょう。

■マークと呼び方を確認しよう!

目印となるマーク・ステッカーは、入り口近くに貼ってあることが多い。まずは、目印をみつけてみよう。



東京都杉並区
「ピーくん110番」



横浜市港北区
「子ども110番の家」



広島県呉市
「呉子ども110番の家」

「子ども110番の家」という呼び方やマークも地域によってちがいます。まずは、住んでいるまちの「子ども110番の家」のマークをおぼえましょう。

※自分の住んでいるまちのマークなどを撮影して、ここにはりつけておきましょう。

■「子ども110番の家」は、「家」だけじゃない!

意外なところに「子ども110番の家」があるかもしれません。自分の地域の「子ども110番の家」マークがわかったら、いろんなところを探してみよう。



© 2007 Gullane (Thomas) Limited

駅の改札口にも「子ども110番の駅」のステッカーが貼ってある。
(提供: 社) 日本民営鉄道協会



自転車の店にも「子ども110番の店」のステッカーが貼ってある。



実践!「子ども110番の家」シールラリー

体験②

通学路や自宅の近所の「子ども110番の家」(以下、「110番の家」)を確認して歩くシールラリーを行います。実際にまち歩きをして、110番の家を順番に訪問し、110番の家の方にシールをはってもらいます。

■ねらい

- 110番の家の役割を知る。
- 110番の家はどこにあるのか、どんな人が住んでいるのかを知る。
- 110番の家に住んでいる人を直接訪問してふれあうことにより、いざというとき逃げ込みやすい環境をつくる。
- 看板やステッカーはあっても機能していない家の再点検につながる。
- 子どもたちの視点から意見をとり入れていくことで、地域の改善につながる。

事前に準備すること

- 1 実施が決定したら町内、校区など、シールラリーを行うエリアを設定します。
- 2 110番の家を管轄しているのは、小学校、PTA、教育委員会、自治体等、地域によって様々です。管轄先を確認し、実施の理解を取り付けます。
- 3 子どもの参加人数を確認し、グループ分けをしておきます。(例：通学路ごと)
- 4 1グループは各学年混合で5人程度、訪問先は10軒程度を目安としましょう。
- 5 子どもの参加人数に合わせてシール(※)を用意しましょう。

まずは、 エリアの設定

訪問する 「110番の家」に アポイント

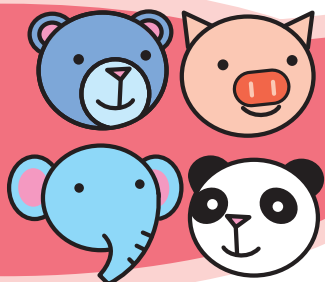
- 1 訪問する家を決め、事前訪問してシールラリーの趣旨、実施の日時を説明します。
- 2 訪問を承諾いただけたら、作成したシール(※)を渡しておきます。シールは、訪問してきた子どもたちが持っている台紙にはるためのものです。

当日までの 準備

- 1 コース別に地図を作成し、およそ何軒の110番の家が存在するのか確認し、マークをつけておきます。(実際に歩いて確認してみましょう。)
- 2 マーキングした110番の家の中から選定した10軒程度を別シールで更にマーキングし、回る順番を決めます。(この地図は当日班長が持ちます。)
- 3 必要に応じて、当日の実施要領等を作成してください。
- 4 可能であれば警察などの関係先に実施の連絡をしておきましょう。
- 5 当日までにシールをはる台紙(※)を作成します。

※シールの例

あらかじめ110番の家の方にわたしておきます。シールには、動物のイラストなど楽しいものを！市販されているものでかまいません。



※台紙の例

台紙・シールともに損保協会のホームページからPDFファイルをダウンロードできます。

シールラリー 実践紹介

東京都大田区の防犯ボランティア「PSI 池上自主防犯パトロール隊」が実施した「こども SOS の家」(以下、「SOS の家」)シールラリーの様子を紹介します。シールラリーを実施する際の参考としてください。

- 主催** PSI 池上自主防犯パトロール隊
協力 池上第二小学校、警視庁池上警察署、大田区池上特別出張所、市野倉南町会、市野倉北町会、中央八丁目町会、堤方東町会
実施地区 大田区中央6・7・8丁目、池上1丁目(池上第二小学校の通学路4コース)



この地域では、「こどもSOSの家」と呼ばれています。

準備品

あらかじめSOSの家をマーキングした**地図**



★シール(訪問するSOSの家に事前にわたしておく)



バインダーにはさんで持ち歩こう。

★シール台紙(全員)

白地図

マークシール

訪問先以外でSOSの家をみつけたときに使う。

★印の準備品は、損保協会のホームページからPDFファイルをダウンロードできます。<<http://bouhan.sonpo.or.jp/>>

当日の流れ

★印がついたところは、子ども主体で行います。

シールラリー出発前に注意事項をよく聞いてね。

9:30
ステップ1
集合・事前学習



エスオーエス SOSの家について学ぼう。シールラリー活動中の注意点や説明をよく聞いて、ルートと準備品を確認しよう。

- 説明の内容**
- ・SOSの家とは？
 - ・シールラリーのやり方
 - ・まちあるきの注意事項
 - ・もちもの

9:45
ステップ2
グループ編成



だれがなにをやるのかな…

★出発前にグループごとに集まって、班長・副班長・地図係などの役割を決めよう。

- 班長**：コース地図をもって班を誘導するまとめ役
- 副班長**：班長をたすけ、気づいたことを記録する役
- 地図係**：白地図をもってSOSの家をみつけたらシールをはる役
- 全員**：台紙に訪問先の人からシールをもらう

10:00
ステップ3

シールラリーに出発

★シールラリー台紙を持って、さあ出発!!
走ったり、大声で騒いだりして周囲に迷惑をかけないようにしよう。また、交通ルールはしっかり守ろう。

全部シールを
あつめるぞ!



台紙は首から
かけておこう。

シールはって
ください!

エスオーエス いえ ほうもん
SOSの家を訪問



★SOSの家でシールをもらおう。
グループ班長が持っているコース地図をみながら、SOSの家を順番にまわり、行った先でシールをはってもらおう。

エスオーエス いえ ほうもん
SOSの家を訪問したら

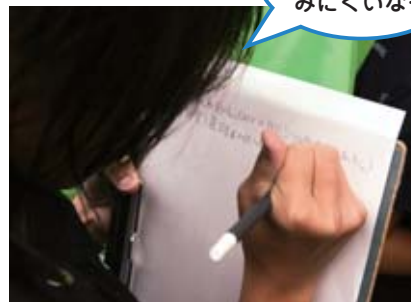
- ①こんにちは、エスオーエス SOSの家シールラリーで伺いました。
- ②シールをはっていただけますか?
- ③この辺で、危ないところがありますか?
- ④ご協力ありがとうございました。

☆訪問先ではかならずあいさつをし、シールをはってもらったらお礼をいおう。

訪問先でもらったシールは地図上にもはります。それ以外にも見つけたら他のシールでマーキングしていくよ。



この
ステッカーは
みにくいな...



おつかれさま
でした!



11:00
シールラリー終了(帰着、休憩)

★全部はってもらってゴール!!
SOSの家をひとつまわってシールをもらったら、ゴールの集合場所へ。シールラリーの台紙を確認してもらおう。

11:00
ステップ4

発表会

★みんなはどう思った? グループごとに意見を発表しよう。
地図係がつくった地図と、メモ用紙に書き込んだ意見をもとにグループごとに意見を発表します。SOSの家についての感想や要望など、みんなで意見をいおう。



訪問先でもらったシール
自分たちで見つけた SOS の家

保護者からの意見

- ・SOSの家がまったく見当たらない地区があった。
- ・ステッカーの位置を子どもの目線ではっていただけると確認しやすい。
- ・SOSの家の方と直接お会いすることでコミュニケーションがとれてよかった。等

子どもたちからの意見

- ・お寺さんにもステッカーをはってほしい。
- ・植木のかげでステッカーがみえない。
- ・SOSの家の人と知り合いになれてよかった。等



わかりやすい例
改善されました



地図係のつくったSOSの家マップ完成!!
SOSの家がどこにあるかを実際目で見て確認できました。

12:00 終了

閉会後は...

- 1 主催者は110番の家の方へ終了の連絡とお礼をいいます。
- 2 すでに辞退している家などが見つかった場合には、110番の家を所管している組織(小学校、PTA、教育委員会、自治体等)に連絡します。子どもたちからの意見と感想も合わせて連絡します。

〈注意事項〉

- ・ルートはできるだけ通学路上に設定しましょう。
- ・110番の家が多い場合は、訪問する家を適宜選定しましょう。
- ・110番の家の方には、当日子どもたちが何人くらい訪れるかをあらかじめ伝えておきましょう。
- ・当日留守の家がある場合は、代わりの人が家の前で待ち、シールをはってあげる等工夫しましょう。
- ・子ども主体が進めますが、各グループには必ず大人が1名以上つきそい、必要に応じてサポートしましょう。
- ・グループごとにまとまって行動し、交通事故などに注意し、安全には万全を期すようにしましょう。